

都市型／最新鋭データセンター

大阪市内中心部に立地し、高い安全性と信頼性を誇る最新のデータセンター専用ビルです。

安全性、信頼性、機能性、サービス、これまでのデータセンターに求められる全ての要件に対応可能です。

震度6強の揺れでもIT機器を正常稼働できるように設計された免震構造や、液状化・浸水リスクを考え抜いたファシリティ。そして、長年の運用実績に基づく質の高いサービスを提供し、お客様のIT基盤の最適化に貢献いたします。



大阪第3DCの特長

① アクセス至便なロケーション

- 大阪市内中心部、最寄り駅から徒歩 2分圏内に位置する絶好のロケーション
- 有事の際にも迅速に駆けつけられる都市型データセンター

② 安心のファシリティと環境性能

- 4種類の免震装置を最適配置した免震構造
- 液状化や浸水リスクを考え抜いた建築仕様、UPS/発電機N+1冗長構成
- 発電機燃料 48時間備蓄など、徹底的に災害耐性を追求したファシリティ

③ ニーズに合わせた柔軟なサービス提供

- 企業クラウド基盤とシームレスに連携したハイブリッド環境の構築が可能
- きめ細かで高品質な運用サービスから、オープンソースソフトウェアを活用した安価なサービスまで、お客様のニーズにあわせた最適なサービスを組み合わせ提供可能
- データセンター間、インターネット、クラウド接続等多彩なネットワークをご提供

『大阪第3DC』の特長・主要スペック

1. 安全性

① 地震対策

- <地震> ● 震度6強の地震に対して、ビル構造としての耐震性はもちろん、IT機器を正常稼働させることを目標として設計された免震ビル
- <液状化> ● 強固な地盤(N値60以上)までコンクリート杭を打ち込み、建物を支持
● さらに、万が一の液状化の可能性に備え、コンクリート杭に鋼管を巻き、耐震性を強化
- <津波> ● 内閣府の津波浸水想定(2012年8月29日発表)において、浸水しない地域に立地

② 浸水対策(内水氾濫・河川氾濫)

- 1階のフロアレベルを、大阪市ハザードマップで想定される浸水高(0~50cm)より15cm高く設定
- 1階開口部(エントランスや搬入口)には、上端が1階フロアレベルよりさらに10cm高い防水堤を設置
- 電気設備などの主要設備と、IT機器を設置するマシンルームは、2階より上層階に配置

2. 信頼性・可用性

① 電気設備

- 特別高圧3系統スポットネットワーク受電、地中引込み
- 冗長化発電機/燃料備蓄48時間分N+1冗長構成
- 冗長化UPS N+1/蓄電池(10分以上給電可)

② 空調設備

- 空冷パッケージ方式 冗長化空調設備

④ 防災設備

- 超高感度煙検知システム
- 不活性ガス(N2)による自動消火設備

③ セキュリティ設備

- フロア単位での入室制限
- 生体認証による入退管理、共連れ防止ゲート

⑤ マシンルーム

- 床荷重 1t/m²
- フリーアクセス床下 75cm、床上 3.6m以上

3. 柔軟性

お客様の個別ご要件にお応えする柔軟性のある設備設計

- 重量機器専用ゾーン(床荷重 2.2t/m²)
- お客様ラック専用監視カメラ
- 高負荷機器専用エリア(局所空調)

4. 省エネ/環境配慮

- 外気冷房
- LED照明/人感センサー
- 超高効率型トランス
- 高効率型空調パッケージ
- 温度センサーによる空調自動制御
- 長寿命型バッテリー

5. 認定資格

- ISMS (ISO/IEC27001)
- PCI DSS
- QMS (ISO9001)
- ITSMS

お問い合わせ先

TIS株式会社
IT基盤技術事業本部 IT基盤技術事業部 IT基盤営業部

EML: ps_info@ml.tis.co.jp